
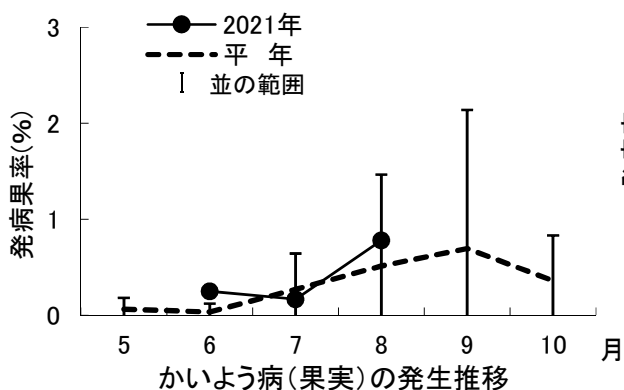


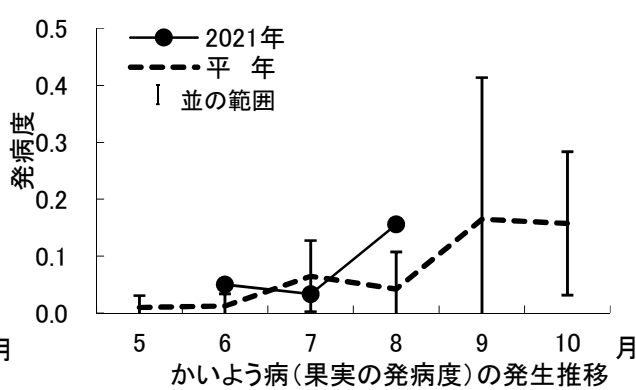
作物	かんきつ（温州みかん）	地域	沖縄群島
病害虫名	① かいよう病		
調査結果	8 月の発生量（平年比）	やや多	
予報	8 月からの増減傾向	↗	
		9 月の発生量（平年比）	やや多
予報の根拠		平年の発生量の推移（↗） 今後 1 か月の降水量が平年並か少ない見込み	

調査結果

（発病果率・平均値）

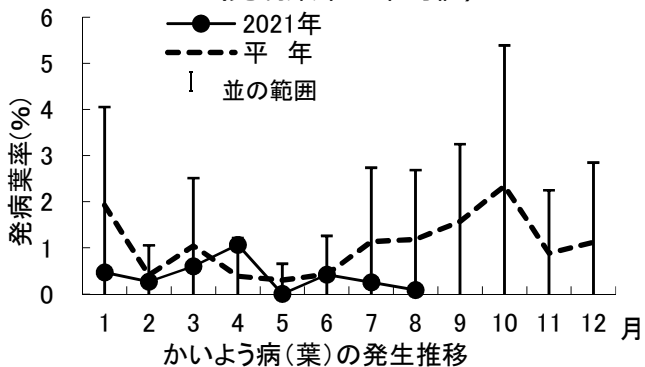


（果実の発病度・平均値）



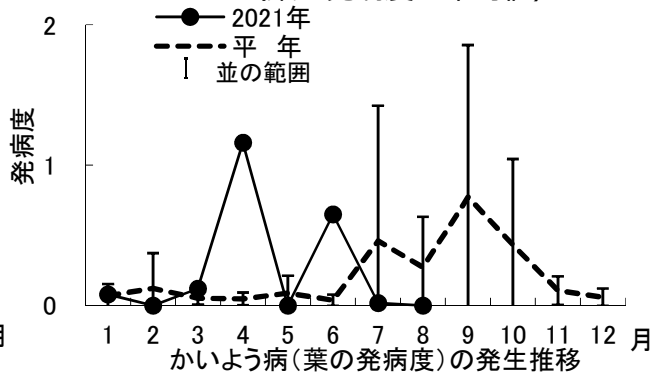
・ 発病ほ場率：50.0%（平年19.0%）

（発病葉率・平均値）




・ 発病ほ場率：25.0%（平年38.1%）

（葉の発病度・平均値）

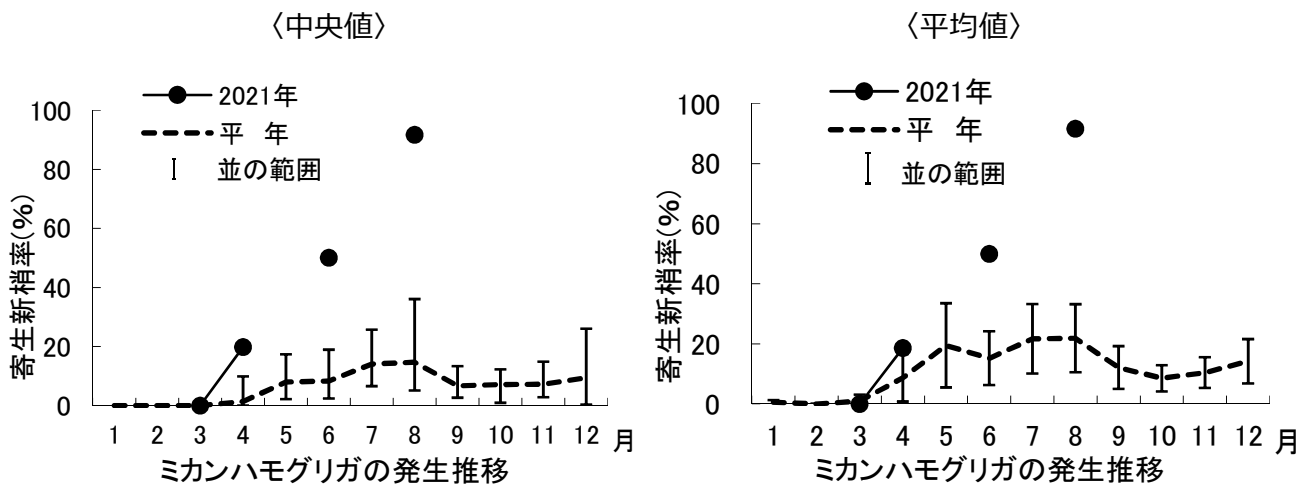


防除のポイント

- ・ 罹病枝などの病斑が伝染源となり、台風による葉や枝の傷口は感染を助長することから、台風前後ともに薬剤防除を行う。
- ・ 本病はミカンハモグリガによる食害痕から侵入しやすい。

作物	かんきつ（温州みかん）	地域	沖縄群島
病害虫名	ミカンハモグリガ		
調査結果	8 月の発生量（平年比）	多	
予報	8 月からの増減傾向	↓	
	9 月の発生量（平年比）	多	
予報の根拠		平年の発生量の推移（↓）	


調査結果



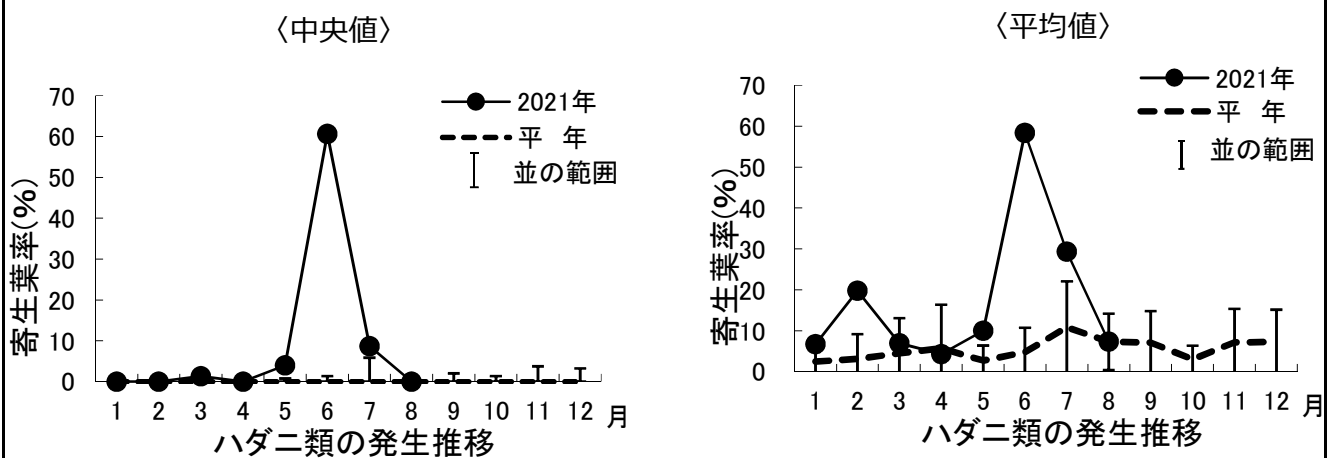
- ・ 発生ほ場率：20%（平年値：74.3%）
- ・ 1圃場のみ新梢の発生が見られ、ほとんどの新梢で見られた

防除のポイント

- ・ 被害葉にかいよう病が発生しやすく、翌年の伝染源になるので除去に努める。
- ・ 被害が目立つ場合は薬剤による防除を行う。

作物	かんきつ（温州みかん）	地域	沖縄群島
病害虫名	② ハダニ類		
調査結果	8 月の発生量（平年比）	並	
予報	8 月からの増減傾向	→	
		9 月の発生量（平年比）	並
予報の根拠		平年の発生量の推移（→） 今後 1 か月の降水量が平年並か少ない見込み	

調査結果



- ・ 発生ほ場率：25.0%（平年：40.5%）
- ・ 一部ほ場で多発生が見られた

防除のポイント

- ・ 薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。



ハダニの寄生による葉のかすれ症状